

市民と行政の協働で

▶▶▶ 夢ハウス（美住リサイクルセンター）を拠点にごみ減量



人気のイベント「夢ハウスまつり」（毎年5～6月に開催）

東京都東村山市 資源循環部
ごみ減量推進課長

田口 輝男

東村山市一般廃棄物処理基本計画におけるさまざまな施策の中でも、当市が行っている特徴的な取り組みは、市民との協働による「ごみ減量、リサイクル活動」です。

1988年（平成10年）、市民の協力を得ながら循環型のまちづくりに向けた取り組みを行っていったため、美住リ

サイクルショップを設立し、その担い手である美住リサイクルショップ運営委員会が発足しました。

美住リサイクルショップは、資源循環型まちづくりに向けて、市民と行政が主体的にごみ減量、リサイクル活動の普及および推進をしていくために、啓発、学習し、資源の有効利用を図る施設としてオープンしました。

主な目的としては…

- ① 東村山市の中間処理施設である秋水園に搬入された粗大ごみから、まだ使えそうな家具などを修理して展示し、その再生家具類の安価な販売を通じて、ごみ減量・リサイクルを進める場とする。
- ② 環境教育の一環として、子どもから高齢者の方までごみ問題に関心を持てる場とする。
- ③ 市民のリサイクル活動を中心に、自然環境についても触れる場とする。 などです。

ショップでは再生家具、古着、陶器、雑貨などの展示・販売を行っております。

美住リサイクルショップ運営委員会は、市民公募によって市長の委嘱を受けた、現在16名の運営委員で成り立っています。運営委員は、美住リサイクルショップの運営、資源循環部と協働で主催する全体事業・グループ事業・各種イベントを通じて、市民の目線で、市民の立場からごみの減量、リサイクルの推進などの啓発活動をしていただいています。

具体的には「美住リサイクルショップでのごみ減量、リサイクル推進の啓発活動」「衣類や陶器の引き取り」「おもちゃの病院」「市民ごみ講座」「夢ハウスだよりの発行」「フリーマーケットの開催」などなど。人気の講習やイベントが多く、日々訪れる市民でにぎわっています。

昨年、美住リサイクルショップ及び運営委員会は、発足から20周年を迎えました。20年間の取り組み、活動を振り返った時、これはとても行政だけで担っていくことは不可能であったとつくづく思いました。これまでの長きにわたる運営委員のみなさんの活動を抜きにしては語ることはできず、あらためて感謝申し上げますとともに、今後とも、行政と市民が協働で事業を行うメリットを活かしながら、この制度を長く継続し、ごみの減量、リサイクルの推進に努めてまいりたいと考えております。